

平成 28 年第 12 回三浦市教育委員会定例会会議録

○日 時 平成 28 年 12 月 21 日（水） 午前 10 時 00 分～午前 11 時 33 分

○場 所 三浦市教育委員会教育委員室

○次 第

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 署名委員の指名

松 尾 恒 廣 委員、 下 里 矩 生 委員

4 教育長報告

(1)定例校長会について

(2)平成 28 年第 4 回三浦市議会定例会について

(3)平成 29 年 1 月の事業・行事等について

5 報告事項

(1)平成 28 年 11 月の後援名義等使用について

(2)平成 28 年第 4 回三浦市議会定例会の状況について

(3)東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センターとの連携協定について

6 審議事項

(1)議案第 28 号 教育長が臨時に代理した事務の承認を求めることについて

7 その他の事業について

(1)ユネスコ無形文化遺産・国指定重要無形民俗文化財「チャッキラコ」奉納について

(2)第 63 回文化財防火デーについて

(3)第 71 回三浦半島県下駅伝競走大会の開催について

(4)平成 29 年三浦市成人の日のつどいの開催について

(5)平成 28 年度うどん祭りの開催結果について

(6)三浦市社会教育講座 「日本の伝統美術の特色と仏像」の開催について

(7)三浦市社会教育講座 「三浦の野菜をおいしく食べる料理講座」の開催について

(8)三浦市社会教育講座 「趣味の農業 第 19 期」の開催について

(9)三浦市社会教育講座 「三浦ゆかりの歌」の開催について

8 その他

9 閉 会

○出席委員（5名）

教 育 長	三 壁 伸 雄
教育長職務代理	菊 池 惠
委 員	松 尾 恒 廣
委 員	下 里 矩 生
委 員	玉 井 恵 理

○説明のために出席した職員

教 育 部 長	大 西 太	教 育 総 務 課 長	増 井 直 樹
学 校 教 育 課 長	五 十 嵐 徹	学 校 給 食 課 長	松 下 彰 夫
文 化 ス ポ ー ツ 課 長	堀 越 修 一	南 下 浦 市 民 セ ン タ ー 館 長	小 川 史 郎
初 声 市 民 セ ン タ ー 館 長	見 上 正 行	青 少 年 教 育 課 長 兼 図 書 館 長	安 藤 宜 尚

○事務局出席者

教育総務課教育総務グループリーダー 長 島 正 紀

○傍 聴（1名）

○三壁教育長 それでは、ただいまより平成 28 年第 12 回三浦市教育委員会定例会を開会いたします。

まず、はじめに前回会議録の承認を行います。

前回会議録の案につきましては、すでにお手元に送付してございますが、本案修正等に関する皆さまのご意見を頂戴したうで、誤字脱字等の修正については教育長一任とすることについてご承認いただきたいと思ひます。

修正等のご意見があれば、ご発言をお願いいたします。

(発言等なし)

○三壁教育長 なければお諮りします。

前回会議録について、別添「平成 28 年第 11 回三浦市教育委員会定例会 会議録」のとおりとすることについて、併せて、誤字脱字等の修正については教育長一任とすることについて、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○三壁教育長 ご異議ないようですので、前回の会議録についてそのようにいたします。

本日の定例会の会議録署名委員に松尾委員と下里委員を指名します。

○三壁教育長 それでは、次第 4 「教育長報告」になります。

今年も残すところあと 10 日余りとなりました。

定例教育委員会は今日が今年最後ということでございます。

それでは何点か報告をさせていただきます。

一昨日、19 日(月)に定例校長会が開催されております。

それから昨日は、12 月の定例議会最終日ということでございます。

校長会では、議会が終わる 1 日前でしたが 12 月議会の概要と、それから年末年始、特に学校に関して子どもたちの安全についての指導を徹底してほしいということ、それから教職員につきましてはこの時期どうしてもいろいろ外に出て忘年会・懇親会等が多くなるので、責任を持った行動を心掛けるよう、校長先生方に私からお話をいたしております。

次に、議会関係について、後ほど教育総務課長から報告がございますけれども、私からその概要についてお話をさせていただきます。

この 12 月の議会は、例年ですと一般質問と教育委員会が関わる都市厚生常任委員会に対応し、議会が終了ということになるわけですが、今回は総合計画の審査特別委員会が設置されて、議案についていろいろ質疑がございました。

特に順を追ってお話をさせていただくと、本会議一般質問には今回剣崎小学校の 6 年生 14 人が傍聴に来ました。

1日目の午前中に先生3人と14人の子どもたちが大変真剣な目をしながら1時間程度傍聴していたのがとても印象的でした。

特に教育委員会関連では、施設整備について、小学校の適正化、その他ということで、すでに委員の皆さんにも11月の時点でお話をしております。

施設整備については、9月の市議会、その後に議会報告会がありました。

これは、これまで委員の皆さんにお伝えしているところですが、11月17日に市長と教育長宛に議長名で三浦市立小中学校の施設整備に関する申出がありました。

今議会では、一般質問で学校の施設修繕についての質問が出ました。

さらに、都市厚生常任委員会の協議会報告の中で、議会から報告の要求がございました。

小中学校の施設修繕と通学路の安全点検について、教育委員会と土木課から説明をしております。

協議会の終了後には、議会による学校視察がございました。

岬陽小学校の校舎の修繕の状況や学校周辺の通学路の一部について、校長先生や教頭先生の説明を受けながら議員の皆さんによる視察が行われたということであります。

いま予算編成時期ですから、教育委員会としては議会のこのような動きが今後の学校の施設整備の予算化に少しでもつながっていけば良いなと思っております。

それだけ議員の皆さんの関心が非常に高いということの表れだと私は認識しています。

次に、小学校の適正化についても、一般質問の中で一問一答といった形で議員からの質問がございました。

特に、小学校等で行ったアンケートについて、かなり踏み込んだ質問をいただいております。

これは後ほど、皆さんのお手元に資料がございますので、詳細の部分で説明があればと思っております。

これらの会議ですけれども、議会で質問されて私どもでお答えしている内容があるわけですが、12月27日の総合教育会議に向けての委員さんとの打合せを定例教育委員会終了後行いたいと思っておりますので、お願いしたいと思っております。

いよいよ適正化も次の段階に入っていくのかなと思っております。

12月27日に総合教育会議で報告し、年が明けてからさらに今年度中に1回あるいは2回、総合教育会議を委員さんと相談しながら開催できればと思っております。

もちろん総合教育会議は市長主催ですので、市長にもすでにお話をしております。

そのような中で、年が明けてから会議が開催されればと教育委員会としては思っているところであります。

いま申し上げた2点が議会での大きな質疑ですが、一般質問と都市厚生常任委員会の他に総合計画審査特別委員会における質疑が非常に多くございました。

学力学習状況調査の結果や学力の向上について、また給食費を今後どうしていくのかについても質疑がありました。

給食費の値上げについては、定例教育委員会でもお話をさせていただいたという流れの中で、協議会報告をしております。

報告のため一方通行でしたが、教育委員会からは報告をしております。

他に海洋教育に関して、それからいじめの問題、そして教員の研修について等々、学校に関わる質問、そして説明が多く、いつもより多かったように感じています。

これまで同様、今議会でも多くの学校関係や学校教育以外でも様々な質問をいただきました。何回も言うようですが、議員の皆さんは教育に対して大変強い関心を持って、いろいろな角度から質問され、それに対して答弁を行いました。

かなり注目されているということを改めて感じた次第であります。

この内容については、19日の定例校長会で私から報告をさせていただきます。

次に、年が明けて平成29年1月の事業について、後ほど担当課長から説明がございしますが、特に5日の新年祝賀式は委員の皆さんにもご案内が行っていると思います。

また、9日の成人の日のつどいについても今日委員の皆さんに渡っていると思います。

13日には文科省が主催する市町村教育委員研究協議会があり、玉井委員に出張をしていただくことになっています。

昨年度、下里委員に行っていたいただいたその内容です。

15日には三浦半島の駅伝競走大会とチャッキラコ奉納があります。

もしお時間がございましたらご出席をお願いいたします。

特に9日の成人の日のつどいについては、ぜひご出席いただきたいと思っています。

新年祝賀式の関係では、例年、市の表彰がございします。

今回は功労表彰・善行表彰で全体で42名ということになります。

内規が改正されたことにより、前回は60数名でしたが、だいぶ減ったということをお聞きしております。

特に教育委員会関係では、功労表彰は13人で、学校医の先生、歯科医師、薬剤師等が多く表彰されます。

私の記憶では、これだけの人数が表彰される時はなかったのではないかと考えております。

善行表彰については、教育文化の振興に寄与したということで、三崎小学校6年生のダンスや初声中学校吹奏楽部の団体表彰をはじめ、あとはスポーツ推進委員や柔道・剣道関係者等の個人表彰がございします。

高校女子駅伝で2区で区間賞の子も含めて、教育委員会関係で団体を含めて27人いるということで、半数以上が教育委員会ということになります。

当日欠席される方もいらっしゃると思いますが、我々教育委員会は当然出席して、全体の流れの中で協力できるところを協力しているというのが例年のことなので、もし委員の皆さんでいらっしゃるなら声を掛けていただければと思います。

私から報告したい内容については以上でございます。

○三壁教育長 以上で報告事項を終わります。ご質問等がございましたらお願いいたします。

○三壁教育長 よろしいですか。なければ教育長報告を終了させていただきます。

それでは、次第5「報告事項」に入りたいと思います。

(1)平成28年11月の後援名義等使用について報告をお願いいたします。

○増井教育総務課長 平成28年11月の後援名義等の使用についてご報告いたします。

議案・資料1ページ、資料1をご覧ください。

平成28年11月に資料記載の文化スポーツ課関係の申請5件について、承認をいたしました。

内容等についてご質問・ご不明な点がございましたら、担当課よりご説明いたします。

○三壁教育長 報告は終わりました。ご質問等がございましたらお願いいたします。

○三壁教育長 よろしいですか。

次に(2)平成 28 年第 4 回三浦市議会定例会の状況について報告をお願いいたします。

○増井教育総務課長 平成 28 年第 4 回三浦市議会定例会の状況についてご報告いたします。

議案・資料 2 ページ、資料 2 をご覧ください。

第 4 回定例会は、12 月 5 日（月）から 20 日（火）までの日程で開会されました。

市からの議案 25 件の提出、報告 2 件、諮問 1 件が行われ、そのうち教育委員会関連の案件は、議案 3 件でございました。

関連議案について順番にご説明いたします。

まず、議案第 60 号 第 4 次総合計画基本計画の制定については、総合計画審査特別委員会に付託され、12 月 13 日（月）、14 日（火）に審議が行われました。

基本計画案の策定にあたっては、本委員会から曾根前教育委員が総合計画審議会に委員として参加いたしております。

主に学校教育課関連の事業についてでしたが、事業内容の細かな部分についての質問がなされ答弁を行いました。

続きまして、議案第 70 号 三浦市奨学金貸付条例の一部を改正する条例については、都市厚生常任委員会に付託され、12 月 12 日（月）に審議が行われました。

委員から選考の方法や基金積立への考え等についてご質問をいただき、奨学金制度が長く継続できるよう基金管理に努めるべきであるというご意見をいただきました。

続きまして、議案第 75 号 三浦市一般会計補正予算（第 4 号）については、総務経済常任委員会に付託され、12 月 9 日（金）に審議が行われました。

内容は、11 月の定例会でご審議いただいたもので、小学校義務教育施設維持管理事業経費のうち修繕費の増でございました。

委員からは、修繕のスケジュールについての質問があり、速やかに修繕を行い、新年度の入学式までには修繕が完了するよう望む旨のお話をいただきました。

すべての案件につきましては、20 日の本会議で可決いただいております。

その他、都市厚生常任委員会の協議会において、学校給食費の見直しについて及び学校施設と通学路についてご説明いたしました。

学校施設と通学路については、協議会から報告を求められた事項でございまして、報告後に岬陽小学校の施設と通学路について議員による現地視察が行われました。

また、今回の議会の中で、一般質問は 12 月 6 日（火）から 8 日（木）の 3 日間で行われ、11 名の議員から質問がありました。

そのうち教育委員会が答弁いたしました 5 議員からの質問内容について、ご報告いたします。

1 件目は、日本共産党の石橋むつみ議員からのご質問です。

図書館について質問され、図書館利用者アンケート調査、図書館の利用状況、図書館の取組について問うものでした。

図書館利用者アンケート調査の結果は「満足」との声が約 70%であること、図書館利用者数は前年度並みであること、みうらっ子ライブラリーや図書館ビンゴなどの取組やヤングアダルトコーナーの設置等についてお答えし、議員からは取組に関して評価いただいた上で、引き続きサービス向上に努力することを要望されました。

2 件目は、自由民主党の出口正雄議員からのご質問です。

通学路の安全点検について、平成 24 年に実施した緊急安全点検後の危険箇所の把握と今後の予定を問うものでした。

教育委員会、市土木課、県横須賀土木事務所、三崎警察署交通課で対応について協議し、取組を進めており、通学路の安全点検は、3 年ごとに実施し改善に取り組んでいることをお答えいたしました。

3 件目は、日本共産党の布川照美議員からのご質問です。

全国学力学習状況調査の結果、三浦市の教科別平均正答率が全国平均よりも低かったことについて、教育委員会の考えを問うものでした。

市内全校に調査結果の分析を指示し、その分析に基づいた取組を共有する場を設けていること、教員の授業力の向上等学力向上に向け、全市的な取組を行っていること、教育委員会として学校の取組を支援していく考えである旨をお答えいたしました。

4 件目は、みうら市政会の出口眞琴議員から 2 点ご質問いただきました。

1 点目は、小中学校の施設整備及び安全対策について、現状と整備の考え方について問うものでした。

現状で把握している施設・通学路の不具合箇所についてお答えした後、これまでも改修・改善について努力してきておりますが、予算的制約等がありすべての必要箇所について対応できてはいないということ、今後も、緊急性・必要性などを判断しながら、可能なものからできる範囲で、順次行っていく考えである旨お答えいたしました。

2 点目は、城ヶ島駅伝競走大会の安全対策等についてでした。

三浦市陸上競技協会が主催し、多くの参加者がある大会であり、安全対策等について注意が必要な場所に関しては、見直しなどにより改善するよう指導していきたい旨お答えし、議員から安全確保を第一に大会の開催に努めるよう要望がございました。

5 件目は、みうら市政会の草間道治議員からのご質問です。

三浦市立小学校適正規模に関するアンケート調査の全般的な内容や結果、検討についての考えや今後の予定を問うものでした。

今までの検討状況、アンケートの対象者、内容、単純集計の結果をお答えし、統合をするための検討ではなく、今後、保護者等の意見を把握した上で、児童の減少に対応した対策について、教育委員会や総合教育会議の中で検討し、方針を決定していく考えを持っている旨、お答えいたしました。

平成 28 年第 4 回定例会に関する報告は、以上でございます。

○三壁教育長 はい、ご苦労様です。

ただいま、詳細について報告がありました。

ご質問等がございましたらお願いいたします。

○三壁教育長 一般質問については年4回ですけれど、毎回このような資料・形で報告がなされます。

これもかなり細かい部分でこのように準備をさせていただいています。

ただ、先ほど私が触れました総合計画の関係の特別委員会、この中でも非常に多くの質疑があつて、そこまで記録はこういう定例教育委員会の中でももちろん取つてあるわけですけれども、こういう形で皆さんにお示しできないのが申し訳ないと思っているのですが、それこそ特別委員会の質疑で相当時間がかかったということでありまして、繰返しになりますけれども、議員の皆さんの学校教育や社会教育に対する関心の高さを全員が感じていると思っています。

○松尾委員 日本共産党からの学力テストに関する質問について、現状や、だいぶ差が縮まってきたが、どのように考えられているのかということについて、その答えとして神奈川県教育委員会が実施している「かながわ学びづくり推進地域研究委託事業」と回答していますが、三浦市単独として、何か具体的に学力の向上を目指すような取組というのが必要ではないのか、また、布川議員さんは、それ以外の何かを聞いていただけるのかどうか、感触的にはどうだったんでしょうか。

○五十嵐学校教育課長 まず、この布川議員の一般質問の学力テストにつきましては、子どもの貧困という大きな括りの中でご質問をされました。

つまり、子どもの貧困が学力に影響を及ぼしている部分があるのではないかというお考えの中から質問をされたと認識しています。

県の委託を受けて取組を進めているところですけれども、三浦市教育委員会として独自に取組を進めていく必要性は感じております。

現在のところ、例えば担当を集めての研修会等の回数はまだ多くありませんが、いま行っている県の委託で形を作りながら来年度もこの委託を受ける予定でおりますので、その後には今度は委託が外れた後は独自に取組を進めていくという形になりますので、その形につなげていきたいと考えています。

以上です。

○松尾委員 学校では、この学力向上については学校訪問も含めてこの3～4年ずっと言い続けてきた経緯があつて、各学校の校長先生はじめ本当に努力をされているなという感じが見えて、私どもも痛く感心しているわけですが、一方で、市としてここでお金のかからない何か学力向上につながることをやっていく必要があるのではないかと再三言ってきた経緯があります。

この議員さんが三浦市単独としての取組について質問していて、それに対する答えだったら、この県の学びづくりの事業1本だとどうなのかなという感じもするので、お聞きしました。

私としては、やはり三浦市で何かお金のかからないものを見い出していかなければいけないのではないかといま痛感しておりますので、このことを聞きたかったのです。

○菊池教育長職務代理 石橋むつみ議員の質問の子どもと読書、図書館について、いろいろ今年度事業の中で取り組んでいる報告を受けているわけですが、これらの事業は来年度も同じように実施するのでしょうか。

○安藤青少年教育課長兼図書館長 一般質問のお答えをしております新しい取組、みうらっ子ライブラリーにつきましては、先般の定例会でも説明をいたしましたとおり、他にも秋のおはなし会と図書館ビンゴという2つの事業をやっており、さらに今年度中にもう1つの事業をやる予定です。

また、このライブラリーの中で内容をいろいろ考えながら継続して実施していくつもりであります。

○三壁教育長 他にございますか。なければ先に進めたいと思います。

追加の報告事項が1件ございます。

この件について(3)ということで、東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センターとの連携協定について、資料は特にございませんけれども、口頭にて説明をお願いしたいと思います。

○五十嵐学校教育課長 それでは、東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センターとの連携協定について、ご説明させていただきます。

三浦市教育委員会とこちらに書いてあります東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センターが、海洋教育の推進にあたり連携協定を結ぶということで、12月26日、来週の月曜日になりますが、10時半より三浦市役所第2分館会合室にて連携協定の締結式を行うというものでございます。

教育委員会としましては、現在も東京大学の三崎臨海実験所と三浦市との間で連携協定を結んだことから、海洋教育に関わる特に市内の小中学校の海洋教育の推進にあたり、連携しながら活動を進めているところでございますが、今回、連携協定の締結式を結ぶ東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センターは、東京大学の本郷校舎を拠点に全国の海洋教育の実践組織によるネットワークの構築等の中で海洋教育の推進を目指している組織でございます。

これまでも三浦市教育委員会は、三崎臨海実験所を通してこの海洋アライアンス海洋教育促進研究センターと連携をしながら進めてきている部分もあったんですが、今回改めて三浦市教育委員会とぜひ連携の協定を結びたいというお誘いを受けましたので、三浦市教育委員会でこれを受けさせていただくというものでございます。

これによりまして、全国とのネットワークをさらにこれまで以上に強めながら、三浦市の海洋教育をより一層推進させていきたいと考えています。

説明は以上です。

○三壁教育長 説明は終わりました。ご質問等がございましたらお願いいたします。

○菊池教育長職務代理 いま、全国のネットワークがつながるといふ説明をいただきましたが、具体的なイメージが湧いてこないのので、具体例があったら教えてください。

○五十嵐学校教育課長 現在、この東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センターが連携協定をすでに結んでいるという所では、教育委員会としましては岩手県洋野町の教育委員会

や三重県志摩市の教育委員会、または宮城県気仙沼市の教育委員会等と協定を結んでおります。

また、学校と直接協定を結んでいる所もございまして、高等学校で言えば岩手県立種市高等学校や神奈川県の逗子開成中学校・高等学校、また、社会教育施設としましては葛西臨海水族園や国立若狭湾青少年自然の家等、大学としましては東北大学、お茶の水女子大学、横浜国立大学等とすでに連携協定を結んでいるというような状況でございます。

以上です。

○菊池教育長職務代理　　そういうネットワークがつながることによって、情報が豊かになって、身近というか、学校教育に有効に役立っていくということですか。

○五十嵐学校教育課長　　実は、これまでもこの東京大学の本郷校舎におきまして、海洋教育のシンポジウムや様々な事業展開の中で、全国から実践されている組織の方たちが集まり情報を共有する場がございまして、三浦市教育委員会としても声を掛けていただいて、何度かこちらからも情報発信をさせていただいたりというようなことをしております。

それぞれ土地に合わせた取組を行っている部分というのは非常に参考になるところがありますので、これからもそういう情報を共有し、またこちらからの発信にもつなげていながら、三浦市の海洋教育をより幅広い視点でさらに深めるというようなところに非常に役に立っていくと考えているところです。

以上です。

○三壁教育長　　連携協力の項目について、委員の皆さんにいくつか説明してください。

○五十嵐学校教育課長　　連携協力の事項としましては、海洋教育の実施・普及・研究といったところが主な内容になっています。

○三壁教育長　　いま五十嵐課長から、平成24年3月に東京大学三崎臨海実験所と三浦市が連携協定を結んでいるというご報告がされたと思います。

そのうちの1つに、具体的に三浦市の教育委員会が関わる仕事として海洋教育の推進があり、すでに11校に授業の中で取り組んでいただいています。

日本財団からみうら学・海洋教育研究所が助成金をいただいて動き出したのが今年の5月からで、もう1ついまのアライアンスのお話がございまして、いよいよ拍車を掛けていくんだというのが教育委員会の考え方でございます。

実は余談になりますけど、今日10時には話合いがされていると思いますけれども、横浜市の政策課が海洋教育についていろいろお伺いしたいと今日いま来ているんですね。

それから横須賀市の自然博物館の担当者が三浦に来られて、海洋教育についていろいろお話をさせてほしいということもございました。

平成19年でしたか、「海洋大国」を国として打ち出したわけで、その流れに沿って、三浦は三方海に囲まれているのでぜひこれに乗ってやっていきたいと思いますという市長の姿勢も含めて、もう5年目になります。

そして、ここにきて12月26日に連携協定を結ぶということは、いよいよこれからもっと海

洋教育について三浦は発信する、それからアライアンスについても全国に発信するツールがあるので、そういう意味で協定を結んでいくということなんですね。

○松尾委員 例えば、岩手県の種市では自然に恵まれた環境の中でアワビを含めた養殖をしているとか、気仙沼ではカキの養殖をしているとか、志摩では真珠の養殖をしているとかといった具合に、海洋教育の具体的な研究の内容がわかれば教えてください。

○五十嵐学校教育課長 いま松尾委員がおっしゃったようなことを小学校・中学校で取り入れて、子どもたちが活動しているというような実践報告が主なものになっています。

○松尾委員 三浦市はいま初めて入ってきているわけですが、そういう産物的に特色のある物を作り出していくことも前提に入っているのでしょうか。

○五十嵐学校教育課長 三浦市はどちらかという、実は全市的に取組を行っているという所は非常に少なく、例えば、高校や小学校が特に地元の産業に特化した形でのものを授業の中に取り入れたり、場合によっては教育課程の特例校という形で海洋教育を取り入れているという所もございます。

三浦市としては、どちらかと言うと、市全体の小中学校が授業の中にあまり無理がかからない範囲でという言い方はおかしいですが、各教科で地域との関わりのあるところを積極的に取り入れながら、子どもたちの学びにつなげていくというような考え方で行っているところと言うと、全国的にいろいろと取り組んでいることを吸収しながらではありますが、三浦市から発信していることは逆にあまり他ではなされていないような形でもあるので、双方が取り入れ合うことによってかなりお互いが響き合うところというのが、いま非常に私たちにとっては役に立っていると感じています。

○松尾委員 私もそのとおりだと思いますが、三浦市がそういう産物的云々という形で力を入れていくのは無理があると思っています。

だから三浦の特色に合った形で、そして学校の教育課程の中身とこの海洋教育の擦れ合いとか接合とか、これを相当考えておかないと学校に混乱を及ぼすことにもなるので、そこら辺りを踏まえながら良い指導をしていただければありがたいと思います。

学力向上を目指しながら同時に海洋教育も推進していくとなると、学校の授業に支障をきたすようなことにもなるので、そこら辺りをうまくコントロールして行ってほしいと思います。

○三壁教育長 海洋教育に関して、三浦市が三方海に囲まれている中で、東京大学の赤坂先生が言っているように、三浦の海には海の生物が豊富にある。

それらは学校がある地域ごとに違うわけですが、そういったものを子どもたちに意識付けをし、自然環境が豊かなこの三浦で海も含めて学んでいき、最終的には『三浦に住んで良かったな。これからも住みたい。』という郷土愛を何とか育てていくことが大切だと思います。

松尾委員が言われたところであえて申し上げますと、真珠の話だとかこういうことは出ていますが、それに特化するのではなく、学校教育を海洋教育の中で上手に育てていかないと、先生

方にとっても子どもたちにとっても過度な負担になってしまうので、そのようなことのないようにというご発言だと理解をしてよろしいですか。

○松尾委員 はい。

○玉井委員 この海洋教育なんですけど、私にも子どもがいますけれども、5年目ということなんですけど、正直言ってこういう海洋教育を三浦市が推進されているという事実を申し訳ないんですけど全然知りませんでした。

そこで、保護者や子どもたちに対してのアピールというのはどのように行われているのか、また、今まで行ってきたのか教えていただきたいと思います。

○五十嵐学校教育課長 正直なところ申しまして、その辺のところはまだまだ力が足りないと思っているところではあります。

現在のところ、昨年度、この東京大学のアライアンスが実施するカリキュラムコンテストというものがあったんですが、これに三浦市教育委員会として参加をさせていただき、10万円の予算をいただくことができました。

この10万円の予算を使って、海洋教育の内容をできるだけ分かり易くまとめたリーフレットを作りました。

これを市内の小中学校すべての児童生徒に配布し、子どもたち、それから家に持って帰ってお家の人にも見せて、こんなことをやっているんだよということをしてできれば話題にしてね、というようなことでお配りしたことはございました。

まだ何部かあると思いますので後ほどお渡しいたしますが、そのようなことも行っていますが、まだまだ足りない部分があると思います。

現在はホームページのリニューアル等も行いまして、教育委員会からの発信、みうら学・海洋教育研究所からの発信により、できるだけ多くの人に見ていただくようにということで取組を進めていますが、今後も様々な工夫をしていきたいと思っております。

○三壁教育長 他にございますか。なければ先に進めます。

それでは、次第6「審議事項」に入りたいと思います。

(1)議案第28号 教育長が臨時に代理した事務の承認を求めることについてを議題といたします。

事務局より説明をお願いいたします。

○増井教育総務課長 議案第28号 教育長が臨時に代理した事務の承認を求めることについてご説明いたします。

議案・資料の13ページ、資料3をご覧ください。

11月の定例会でご審議いただきまして、ご承認いただきました、奨学金貸付条例の一部を改正する条例でございますが、一部文案の修正がございまして、教育長が臨時に代理をいたしております。

14ページに記載のとおり、条例案中第2条の8について表現・用語を適切なものとするのと

もに給付と貸付の関係性を明確にするための修正を行いました。

この修正により、11月の定例会でご審議いただきご承認をいただいた奨学金制度の内容については、一切修正はございません。

内容の修正はありませんが、分かり易く明確にするための修正ということでご理解いただければと思っております。

以上で説明を終わります。

○三壁教育長 説明は終わりました。ご質問等がございましたらお願いいたします。

○三壁教育長 奨学金については、国もいま動いているということでございます。

藤沢も三浦と同様な改正を行うとのことですが、特に事務局として心配していただかなければいけないのはタイムスケジュールです。

これをどのように組み上げて、一般の皆さんに周知するか、このところは丁寧に扱っていただかなければいけないということを私からお話させていただきます。

○三壁教育長 他にございますか。なければお諮りいたします。

議案第28号「教育長が臨時に代理した事務の承認を求めることについて」、原案のとおりご承認いただくことについて、ご異議ございませんか。

(異議なしの声)

ありがとうございました。

ご異議ないようですので、そのように承認されました。

○三壁教育長 それでは、次第7「その他の事業について」に入りたいと思います。

(1)ユネスコ無形文化遺産・国指定重要無形民俗文化財「チャッキラコ」奉納について、(2)第63回文化財防火デーについて及び(3)第71回三浦半島県下駅伝競走大会の開催について、以上につきましては文化スポーツ課の事業ですので、一括で説明をお願いいたします。

○堀越文化スポーツ課長 議案・資料15ページ、資料4をご覧ください。

ユネスコ無形文化遺産 国指定重要無形民俗文化財「チャッキラコ」奉納について説明させていただきます。

チャッキラコは、昭和51年5月に国指定重要無形文化財に指定され、平成21年9月にユネスコ無形文化遺産に登録されました。

毎年、1月15日に実施されておりまして、来年も例年どおり実施される予定でございます。

今回は、15日が日曜日にあたっておりますので、ご覧になる観客の方の増加が見込まれております。

時間については資料の3日時に記載のとおりでございまして、10時から本宮にて奉納された後、10時30分に海南神社で奉納が行われます。

その後、チャッキラコ三崎昭和館で踊りまして、午後1時35分頃より仲崎竜神様、花暮竜宮様、下町の各家々や店舗を回るようになってございます。

「チャッキラコ」奉納に関しまして、主催はちゃっきらこ保存会でございます。

教育委員会は、椅子などの機材の準備や当日の会場警備などで協力をさせていただいております。

続きまして、議案・資料16ページ、資料5をご覧ください。

第63回文化財防火デーについて説明させていただきます。

毎年1月26日は文化財防火デーとして設定されております。

文化財防火デーは、文化財を火災・震災などの災害から守ることと、文化財愛護の意識を高めることを主な目的としております。

そこで、三浦市でも文化財保護への関心を高めることと、地域・住民ぐるみの防火防災意識を高めるために、消防と教育委員会が合同で消防訓練を実施しております。

今年は、24回目の消防訓練となり、1月26日（木）10時から10時30分の間に初声町三戸の寶徳寺で実施をいたします。

訓練の想定は、本堂より出火、延焼拡大の恐れがあるため多口放水により早期消火をし、延焼を阻止するとともに関係者による文化財の搬出など、総合的な消防訓練を行う予定になっております。

続きまして、議案・資料17ページ、資料6をご覧ください。

第71回三浦半島県下駅伝競走大会について説明させていただきます。

三浦半島県下駅伝競走大会は、横須賀市・横須賀市教育委員会・横須賀市陸上競技協会主催で開催される駅伝競走大会で、今回で71回目を迎える伝統ある大会でございます。

今年度は、平成29年1月15日（日）に開催が予定されておりました、「チャッキラコ」奉納の日と重なっております。

コースと通過予想時刻は、19ページ上段の表に記載してございます。

9時30分に横須賀市総合体育会館前をスタートいたしまして、三浦市内ですと3区から4区へタスキをつなぐ第3中継所が、本市の三浦スポーツ公園になっております。

スポーツ公園での中継予想時間は10時38分となっており、実際にランナーが来てタスキリレーが行われるのは10時30分から10時45分くらいまでの間という予想をしております。

三浦市のチームも参加をいたします。

よろしければ応援いただければと思います。

また、昨年の三浦市のチームでございますが、エントリーはしたものの、故障者が2名出てしまい、2名まで登録できる補欠選手を諸事情によりまして1名しか登録できていなかったため、欠場という結果になってしまいました。

当日、お寒い中、応援のためにわざわざ足をお運びいただいた委員さんがいらっしゃったにもかかわらず、このような結果になりまして大変申し訳ございませんでした。

今後はこのような事態が起きないように十分注意をいたします。

仮に何らかの理由により急遽大会自体が中止になったり、あってはならないことですが三浦市チームが参加できないような事態になった場合は、今後は教育委員の皆さまに連絡がいくようにしたいと思います。

以上で文化スポーツ課の3つの事業についてのご説明を終わります。

○三壁教育長 説明は終わりました。ご質問等がございましたらお願いいたします。

○菊池教育長職務代理 今回の三浦市チームの出場は、大丈夫なのでしょう。

○堀越文化スポーツ課長 エントリーさせていただいておりますチームの派遣選手の人選は、三浦市陸上競技協会にお願いをしておりますが、今回は前回の失敗を踏まえまして、陸上競技協会に予備の選手2名の登録も含めまして、きちんとした人選をお願いしているところでございます。

ですので三浦市チーム、今年はぜひ参加させていただきたいと思っております。

○菊池教育長職務代理 はい、わかりました。

頑張っておりたいと思います。

○三壁教育長 昨年の失態について報告がありましたが、教育委員に対してというよりも三浦市民に対してまず配慮すべきです。

三浦市民で応援している人たちが沿道に立った時に、三浦市チームがその日欠場になったことを誰も知らないということがあってはいけません。

まだメンバー表が年明けて1月5日に陸上競技協会からいただくということで、だから本当はここで選手の名前をお示しできれば良かったのですが、それが叶わないということなので、ぜひ頑張ってもらいたいということと、あとチャッキラコと日程が重なっているんですね。

チャッキラコは、委員の皆さんにもし来ていただくとしたら、何時に海南神社に行けばよいかということですね。

スポーツ公園は、10時38分が先頭ランナーでしょうからそれよりも遅くなるんだけど、海南神社が10時半でしょう。

どうしても時間帯が重なってしまうんですね。

だから、これは委員さんに分かれて行っていただくのではなく、行ける方がどちらかに行き、行けない方もいたら沿道に立っていただいとということもあるだろうと思います。

日曜日ですよ、かなり下町が混雑すると思います。

平日ではないので、主催は保存会ですがきちんとした体制を取っておかないと、当然三崎警察署にも交通整理も含めて一報を入れてあるはずだし、それからうらりに来るお客さまも含めてという大変な状況になるとは思いますが、事故のないようにぜひお願いします。

○堀越文化スポーツ課長 はい、気を付けます。

○菊池教育長職務代理 チャッキラコについて、観光協会や観光商工課の職員も協力されるのでしょうか。

○堀越文化スポーツ課長 チャッキラコに関しましては、観光商工課の職員が数名協力していただけるように依頼をさせていただいて、喜んで協力するとのご回答をいただいております。

○菊池教育長職務代理 私も何回も行ったことがあるんですけども、カメラマンがすごいんですね。

アマチュアカメラマンが陣取って、押すな押すなになって、けが人が出なければいいんですが、いろいろな石の建造物があったり階段もあったりしますので、職員の体制が心配だなと思ったものですから、よろしく願いいたします。

○三壁教育長 他にございますか。なければ、続いて、(4)平成 29 年三浦市成人の日のつどいの開催について及び(5)平成 28 年度うどん祭りの開催結果について、以上については青少年教育課の事業ですので、一括して説明をお願いいたします。

○安藤青少年教育課長兼図書館長 議案・資料 21 ページ、資料 7 をご覧ください。

平成 29 年三浦市成人の日のつどいの開催についてご説明いたします。

新成人の門出を祝い、成人としての意識と三浦市への郷土愛を高めることを目的に、平成 29 年三浦市成人の日のつどいを開催いたします。

式典の日時は平成 29 年 1 月 9 日（月）成人の日、午前 10 時 30 分から、会場はうらり 2 階の三浦市民ホールで執り行います。

主催者の 1 つ、成人の日のつどい運営委員会は、今年は新成人 15 名の構成で、現在、式典の運営企画に取り組んでおります。

今回対象の新成人は、平成 8 年 4 月 2 日から平成 9 年 4 月 1 日までに誕生した者で、12 月 1 日現在の住民登録では 376 人で、前回に比べ 23 人少なくなっています。

今回のつどいのサブタイトルは、「踏み出せ未来の第一歩」となっております。

式典の内容は、資料にありますとおり、運営委員長の開会のことばから始まり、以下、国歌・市歌斉唱へと順次進み、新成人の運営委員企画では、中学生時代の思い出のスライド上映やクイズ、新成人へのインタビュー等を予定しております。

式典の周知・広報につきましては、広報紙三浦市民、三浦市ホームページで周知する外、対象の新成人には 12 月 12 日付けで案内状を送付しております。

また、現在は市外在住となっている新成人に対しましても、お問合せのあった希望者 13 人に対し、同様に送付しております。

先ほど、教育委員にはご案内の通知をお渡しいたしましたので、ご出席をよろしく願いいたします。

平成 29 年三浦市成人の日のつどいの開催について、説明は以上です。

続きまして、平成 28 年度第 12 回となりました、うどん祭りの開催結果についてご報告いたします。

議案・資料の 22 ページ、資料 8 をご覧ください。

こちらの催しは、10 月の定例会でご説明いたしましたとおり、平成 28 年 11 月 23 日（水）勤労感謝の日、10 時 15 分から、和田長浜の神奈川県立 YMC A 三浦ふれあいの村野外炊事場で行いました。

当日の参加者は、公募いたしました市内小中学生とその保護者 69 名に青少年指導員、三浦市ジュニアリーダー、事務局等スタッフを加えた計 101 名で行いました。

当日は曇りで時折雨がぱらつく天気でしたが、幸い本降りになることはなく、野外調理による手打ちうどんとおにぎり作り、食後のレクリエーションゲーム等、予定のプログラムを滞りなく行うことができました。

会場で参加者にお願いしましたアンケートの抜粋が資料にございますが、まず参加した感想としましては、「満足した」が96%に達し、参加者のほとんどがこの催しを楽しみ、満足していただけたという結果になりました。

また、うどん祭りへの今までの参加回数では、初参加の方が7割以上という結果になりました。

この中には、青少年教育課が実施する催しへの参加自体が初めてという方も多く見受けられましたので、今後はこの機会を子どもの船や姉妹都市交流等、青少年教育課の他の催しのPRの場にする等、活かしていきたいと考えております。

平成28年度うどん祭りの開催結果について、報告は以上です。

○三壁教育長 説明は終わりました。ご質問等ございましたらお願いいたします。

○三壁教育長 成人の日のつどいの国歌・市歌斉唱は、リードする人がいますか。

○安藤青少年教育課長兼図書館長 当日の国歌・市歌斉唱につきましては、三浦市合唱連盟にお手伝いいただいております。

一緒に歌を歌っていただくような格好で考えております。

○三壁教育長 運営委員長の出身中学校と氏名はわかりますか。

○安藤青少年教育課長兼図書館長 旧上原中学校出身の山本隆太郎さんという方が委員長となっております。

○三壁教育長 運営委員は何人ですか。

○安藤青少年教育課長兼図書館長 運営委員は、いま新成人15名となっております。

○三壁教育長 吹奏楽部が来る学校はどうなっていますか。

○安藤青少年教育課長兼図書館長 吹奏楽部の演奏は、市内の3中学校合同の吹奏楽団による演奏をお願いしております。

○菊池教育長職務代理 成人の日のつどいについて、今年が目玉や今までと変わった点がありますか。

私も何回か見させていただいているんですけども、内容的に変わっているところがあったら教えてください。

○安藤青少年教育課長兼図書館長 今年度は、運営委員さんの企画としては、当時の4つの中学校の思い出のスライド上映、音楽のイントロ当てクイズ、新成人へのインタビューとなっております。細かい内容については皆さん頑張って取り組んでおりますけれども、テーマや表題等は例年とそれほどは変わりませんが、中身につきましてはかなり前年度を意識して取り組んでおります。

○三壁教育長 他にございますか。なければ次にまいります。

三浦市社会教育講座 (6)「日本の伝統美術の特色と仏像」の開催について、(7)「三浦の野菜をおいしく食べる料理講座」の開催について及び(8)「趣味の農業 第19期」の開催について、以上は南下浦市民センターの事業ですので、一括で説明をお願いいたします。

○小川南下浦市民センター館長 それでは南下浦市民センターから、来年の1月から募集を開始する3つの社会教育講座の開催について説明いたします。

議案・資料23ページ、資料9をご覧ください。

「日本の伝統美術の特色と仏像」をテーマとする歴史講座の説明をさせていただきます。

日本の建築・絵画・工芸の特色を学び、仏像の特色について探ることを目的に開催いたします。

日程・内容は、初日の2月1日に日本の建築の特色を、8日に日本の絵画・工芸の特色を、15日に日本の仏像の特色その1（仏師から探る）を、最終日の22日に日本の仏像の特色その2（用材から探る）をそれぞれ学びます。

計4回のいずれも水曜日の19時から21時でございまして、元神奈川歯科大学短期大学部生涯学習講師の地崎広氏を講師に迎え開催いたします。

続きまして、議案・資料24ページ、資料10をご覧ください。

地産地消の推進も兼ねて、三浦の野菜、大根とキャベツをおいしく食べる料理講座を2月4日（土）10時から13時まで、県認定ふるさと生活技術指導士の吉田和子氏を講師に迎え開催いたします。

内容は、三浦大根を使用した創作料理等で、メニューは雪蒸し大根、大根ソーセージ、キャベツのグラタン、キャベツスープ等を予定しております。

材料費として700円を受益者負担していただく予定でございまして。

最後に、議案・資料25ページ、資料11をご覧ください。

三浦の基盤産業の1つである農業について、シニア世代の人たちを対象に、三浦の特色を農業を通じて理解していただき、また三浦の土地で野菜を作りながら「仲間づくり、生きがいくくり、健康づくり」をする機会の一助とすることを目的に趣味の農業を開催するものであり、平成10年から開催している歴史のある講座でございまして。

平成29年度の19期生の15人を募集するため、2月15日（水）と3月15日（水）のいずれも9時から11時30分まで、南下浦市民センターと和田の実習地で説明会を開きたいと考えております。

以上、3つの講座の説明を終わらせていただきます。

○三壁教育長 説明は終わりました。ご質問等がございましたらお願いいたします。

○菊池教育長職務代理　いま3つの講座の説明を受けましたが、これらはすべてタイムリーな講座だと思っております。

特に仏像や美術の関係は、いま大変ブームとなっておりますので、この講座の定員30人に達するのではないかと予想しています。

時間があれば私もぜひ参加させていただきたいと思うぐらいでございます。

それから野菜をおいしく食べる料理講座については、ぜひ若い人にこういう料理を学んでもらって、講座に参加してもらえたらと思います。

それから農業の講座については、高齢者の余暇活動として土に親しむことも大変良いことではないかと思えます。

これらの3つ講座、ぜひ頑張ってやってもらいたいと思います。

以上です。

○三壁教育長　他にございますか。なければ次にまいります。

続きまして、(9)三浦市社会教育講座「三浦ゆかりの歌」の開催について、説明をお願いいたします。

○見上初声市民センター館長　議案・資料26ページの資料12をご覧ください。

「三浦ゆかりの歌」について説明いたします。

「城ヶ島の雨」、「岬めぐり」など三浦に関連が深い歌や、懐かしい歌を約15曲歌い、歌う喜びを皆で分かち合います。

開催日時は、平成29年2月4日(土)午前10時30分から12時、場所は、初声市民センターの講堂です。

講師は、週1回初声市民センターで活動をしている、コーラスサークルスしゃぼん玉の講師の角谷美佐子氏、小林寿美氏、高橋一江氏の3人です。

定員は30名、受講料は300円です。

以上で説明を終わります。

○三壁教育長　説明は終わりました。ご質問等がございましたらお願いいたします。

○菊池教育長職務代理　いま15曲と説明されましたが、歌の曲名がわかったら教えてください。

○見上初声市民センター館長　今回歌う歌はまだ決まっておりませんが、昨年度は、先ほどの2曲以外に「三浦市歌」、「三浦の歌」、「城ヶ島の雨」、「城ヶ島雨情」、三浦に関連のない歌としましても「ごんべさんの赤ちゃん」、「ペチカ」、「雪の降る街を」、「鬼のパンツ」などを歌いました。

何曲かは今年度も同じ歌を歌い、何曲かは変えていく予定ですが、まだ今回の選曲は最終的にはできておりません。

○三壁教育長　他にございますか。なければ、次に次第8「その他」に入ります。

委員の皆さんから何かございますか。

○下里委員 先ほど質問したかったんですが、子どもたちの学力テストについて、市内の小学校8校のうち、単学級の学校が多いですが、単学級の中で文科省で決められているカリキュラムの消化をどこで点検しているのか、まず伺いたいです。

○五十嵐学校教育課長 こちらにつきましては、まず学校の中でチェックをしているということと、年間の指導計画等については教育委員会でも集めさせていただいており、それについては教育委員会でも把握をさせていただいているという状況です。

○下里委員 はい、わかりました。

なぜこんな質問をさせていただいたかと言いますと、単学級になりますと、例えば5年生で担任が1人というのと、そのカリキュラムの消化・進行についてお互いに点検し合う場所がないんですね。

何クラスもあると、1組はここまで進んだとか、2組はここまでしか進んでいないとか、だから頑張って歩調を合わせてここまで一緒に行こうよとかができますけど、単学級ではそういう場面がないので、カリキュラムについて進んでいることの点検をしっかりしていかないと、単学級故におろそかになってしまったり、進まないでそのまま済ませてしまうということも考えられます。

学力テストで三浦市内の小学校・中学校が全国平均より低いというデータが出ていますが、それではどこまできちんと進んでいるのか、そこの辺りをどうやって点検したら良いのか、カリキュラムより進んでいない小学生に全国平均より低いということだけぶつけてもかわいそうではないかと、そんなふうに思うことが1点です。

あと、先ほど海洋教育のことも含めてお話ししようかとも思ったんですが、少し違うかなと思って最後に質問させてもらおうと思っていたんですが、昨年、小学校でまぐろについての研究授業があってそれを見に行かせていただいたのですが、教える側の教員がまぐろに関してあまりわかっていないなと感じました。

それはどういうことかと言うと、まぐろが獲れなくなってきた原因を1つのテーマに授業を進めていたようではすけれども、まぐろが獲れなくなってきた背景について教える側ももう少しきちんと深く掘り下げて勉強していかないと、子どもたちに違ったニュアンスで伝わってしまうのではないかと思います。

まぐろが獲れなくなった背景というのは、例えば日本の国がまぐろ船の減船措置を採って、ただ単に減船だけだったらいいんですが、まだ十分使える新しい船を韓国や中国やタイなどに売ってしまう。

船主にしてみれば、減船しなければいけない船を高い値で売れますし、国からの減船補償ももらえるのでいいですが、その影響で韓国や中国の船が同じ漁場に行くと大規模に獲ってしまう。

そして、延縄などは見付けるとバサバサ切られてしまう。

これでは自分で自分の首を絞めているような状況なのだという背景も知って、子どもたちにまぐろはどのようにして獲れなくなったのかということを知っていかないといいと思います。

ですから、何か矛盾しているなど感じたので、学力テストにおいても、進むべきカリキュラムを全部こなしただでテストを実施して、それで駄目であれば遅れていると捉えて良いと思いますが、進んでいない部分が沢山あるのに同じテストをさせて平均より低いと判断するのはどうかなと思ったのです。

単学級についてなぜ申し上げたかという、えてして担任は1人しかいないので、他の先生と比較してお互いに切磋琢磨するという部分がないので、マイペースになりがちだと感じているものですから、そういうお話をさせていただきました。

以上です。

○五十嵐学校教育課長 確かに単学級ならではのというようなところでは、いまご指摘の点については改めて学校に伝えていかなければいけないと思っています。

ただ、学校につきましてはそれを補うために単学級の学校に限らずですが、例えば低学年部会・中学年部会・高学年部会等で、近い学年の教員同士がお互いに授業の内容について情報を共有したり交換したりというようなことをそれぞれの学校で行っております。

あともう1点は、近年、例えば中学校での未修学の問題がありまして、実際に子どもたちが学んでいなければいけない内容を学んでいなかったという実態があった所から全国に調査が入るといふようなところも含めて、改めて学校の中でそういうことがないようにという取組は、かなり教育委員会としてもそれぞれの学校に毎年きちんと依頼をしながらやっています。

ただ、いずれにしても先生にペースがあるというのは実際にあるところですので、その辺については、万遍なく子どもたちにきちんと学べる機会が与えられるようにということ、改めて教育委員会からも学校に指導していきたいと考えています。

○三壁教育長 カリキュラムの消化状況に影響が出ないようにという学校の指導は良いと思いますので、ぜひお願いします。

あと、まぐろの授業について、説明してください。

○五十嵐学校教育課長 海洋教育を推進するにあたって、教員の研修がかなり大きな課題になっています。

三浦市の教員は三浦市外から来ている者が多いという現状の中で三浦市の特徴を教えるということについては、やはり事前の知識としてしっかりと勉強しておかなければいけないところはあります。

いまご指摘いただいたような、地元でそういう知識に長けた方がいらっしゃるというところを学校の中に積極的に取り込んでいながら、教員の研修に活かしたり資質を高めたりできるよう進めていきたいと思っています。

ご指摘ありがとうございます。

○松尾委員 議会の特別委員会の中で教員の研修について質問されたと聞いたんですけども、具体的な研修の中身や方法などについて教えてください。

○五十嵐学校教育課長 今回、この計画の中で教員の研修についてどういう視点で成果を評価

していくのかという1つの指針として、教員の公開授業の数というものがあります。

教員がまず学校の中でどのような研修をしているのかについては、授業公開をどれだけ行っているのが指針になっておりますので、このような形でそれぞれの学校でかなり頻繁に授業公開が行われているというような答弁をさせていただき、それを年間集計して報告するというような形になっています。

○三壁教育長 他にございますか。なければ、以上で「その他」を終了させていただきます。

今年最後ということで、玉井委員におきましては10月から学校訪問も含めてご苦労いただきました。

委員の皆さん、1年間、本当にありがとうございました。

これもちまして、平成28年第12回三浦市教育委員会定例会を閉会いたします。

傍聴者の方は、ご退室をお願いします。

ご協力ありがとうございました。

◇ 午前11時33分 閉会 ◇
